

劇画躍進のエンジンとなって奮闘した巨星！ その偉大な創造の全貌に迫る初の大回顧展。

1955年、敗戦後の貸本隆盛期に『空気男爵』（日の丸文庫）で漫画家デビューしたさいとう・たかを、当時19歳。その後『台風五郎』などヒット作を飛ばし、60年にわずか23歳でさいとう・プロダクションを旗揚げ。少年誌へと舞台を広げ、67年に『週刊少年マガジン』（講談社）で少年誌では珍しい時代劇『無用ノ介』を、そして『ビッグコミック』（小学館）創刊の年・68年には、現在も連載中の大ヒット作『ゴルゴ13』を発表して漫画界に不動の地位を築いた。〈大人のための漫画〉〈映画作りのような漫画〉… 劇画のスタイルを確立し、脚本を含む制作分業制の採用、出版社の起業など、数々の挑戦を情熱的に成し遂げた。2021年秋、現役のまま84年間の生涯を終え、それでもなお新作の連載が現在も継続するという快挙を果たした。彼が70年近く追い求めた壮大な創作を、500点以上の原画と多数の貴重な資料で振り返る。



1936年11月3日、和歌山県に生まれ、2021年9月24日没。大阪府堺市で育ち、『空気男爵』で日の丸文庫から19歳でデビュー。1958年に上京、1959年に劇画工房を結成するも一年で解散。1960年にさいとう・プロダクション設立。以降、劇画の雄として活躍した。代表作『ゴルゴ13』は単行本が220巻を突破し現在もさいとう・プロによって連載中。他に『鬼平犯科帳』（原作・池波正太郎）『無用ノ介』『サバイバル』『パロム・1』など多数。

ライブトーク
5/24 [日] 14:00～15:30 (13:30開場)
アルテリオ1階 集会室

ゲスト：里中満智子さん（マンガ家）
聞き手：今秀生（本展監修）



1948年1月24日 大阪生まれ。
1964年16歳で第1回講談社新人漫画賞受賞しプロデビュー。1974年『あした輝く』『娘がいく』で講談社出版文化賞受賞、1982年『狩人の星座』で講談社漫画賞受賞。代表作に『アリエスの乙女たち』『あすなろ坂』『天上の虹』『女帝の手記』など多数。

デビュー以来、さいとう・たかをと交流を重ね、漫画家協会やコミック表現の自由を守る会などで行動を共にした里中満智子先生が、楽しい思い出やエピソード、そして原画の魅力などを語ります。

定員150人（電子申請での事前申し込み / 抽選制）
※参加には当日有効の入場券が必要です。

申し込み方法
右記の二次元コードまたはしもだて美術館ホームページからお申し込みください。

- ・申し込み受付開始：4/7 [火]
- ・申し込み締め切り：5/7 [木]
- ・当落の発表：5/8 [金]

※1回のお申し込みにつき2名様まで。
※申し込みフォームの案内に従ってご入力ください。
※ライブトーク当日は当選通知画面と当日有効の入場券を受付でご提示ください。



ギャラリートーク
5/3 [日]・6/14 [日]
各日 14:00～15:00
アルテリオ3階 美術館企画展示室内

ナビゲーター：佐藤敏章さん
（元小学館 / さいとう・たかを担当、ビッグコミック編集長）



イラスト / 藤川亮志

聞き手：今秀生（本展監修）
さいとう作品の誕生を、長年にわたって一番近くから見守り続け、現在も復刻や企画の編集に精力的に活躍する佐藤敏章氏が、展示室一杯に並ぶさいとう作品の内容や作品の背景にあるエピソードなど、詳しく解説します。

事前申し込み不要

※参加には当日有効の入場券が必要です。

- ① ゴルゴ13 (1968-) ビッグコミック (小学館)
- ② 無用ノ介 (1967-70) 週刊少年マガジン (講談社)
- ③ サバイバル (1976-80) 週刊少年サンデー (小学館)
- ④ 鬼平犯科帳 (1993-) ライドコミック (ライド社)

©さいとう・たかを / さいとう・プロダクション ©池波正太郎

しもだて美術館
Shimodate Museum of Art

〒308-0031 茨城県筑西市丙372 (アルテリオ3階)

TEL 0296-23-1601 FAX 0296-23-1604

Email datebi@city.chikusei.lg.jp

HP <https://www.city.chikusei.lg.jp/museum/>

鉄道 JR水戸線 関東鉄道常総線 真岡鉄道真岡線

「下館駅」北口から徒歩8分

車 東北道：佐野藤岡ICから国道50号で60分

圏央道：常総ICから国道294号で約40分

常磐道：谷和原ICから国道294号で60分

北関東道：桜川筑西ICから国道50号で約20分

駐車場 美術館(アルテリオ)地下駐車をご利用ください。(無料)

